

祝 辞

本日は、第56回愛媛県小中学校長会定期総会の開催、誠におめでとうございます。心からお喜びを申し上げます。

先ほど、感謝状を受けられました方々には、長年にわたり校長を務められ、指導的立場から本県の教育に多大な御貢献をいただきました。その御労苦と御功績に対しまして、心から敬意を表します。本当にありがとうございました。

また、本日御参会の皆様方におかれましては、各学校のリーダーとして、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスを重視した教育活動の展開や、様々な教育課題への対応など、本県の学校教育の推進に格別の御尽力をいただいておりますこと、この席をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

さて、先日行われた第85回選抜高校野球大会で準優勝した済美高等学校の健闘は、我々県民に夢と感動を与えてくれました。名伯楽として知られている上甲監督は、指導方針の一つに、「指導は一分一秒でも選手と一緒にいること」を挙げておられます。この言葉には、できる限り子どもたちに寄り添い、じっくりと見て考え、一人一人に合った指導を行いたいという思いが込められていると想像します。また、無限の可能性を秘めた子どもたちを教え導く、教育という営みの尊さを端的に物語っているとも考えます。

御存じの通り、県教育委員会では、昨年度、学校教育の質の保証と向上を目的とした学力向上5か年計画を策定いたしました。本計画においては、児童生徒一人一人の可能性を広げる愛媛教育の推進を主張しており、先ほどの上甲監督の指導観と相通じるところがあります。

どうか皆様におかれましては、日々、子どもたちとの交流・ふれあいを大切にされますとともに、確かな信念と使命感、力強い実行力で子どもたちの無限の可能性を花開かせ、「愛顔（えがお）あふれる愛媛」の子どもたちが育成されますよう、全力で取り組んでいただくことを期待しております。

終わりにになりましたが、愛媛県小中学校長会のますますの御発展と皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成25年4月26日

愛媛県教育委員会 教育長 仙波 隆 三